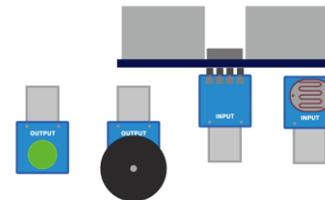
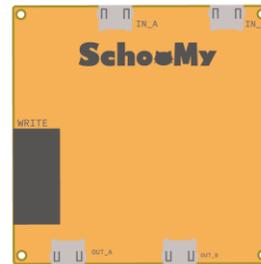
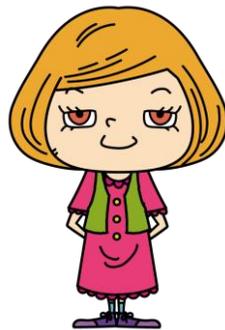


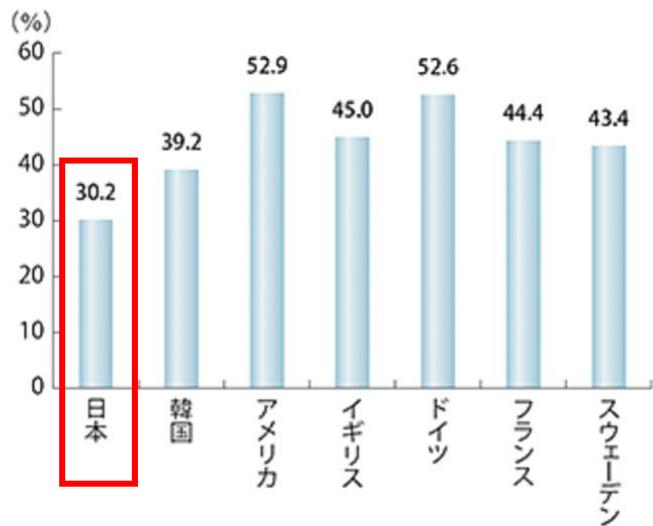
# SchoMy

Limitless Fab Playing

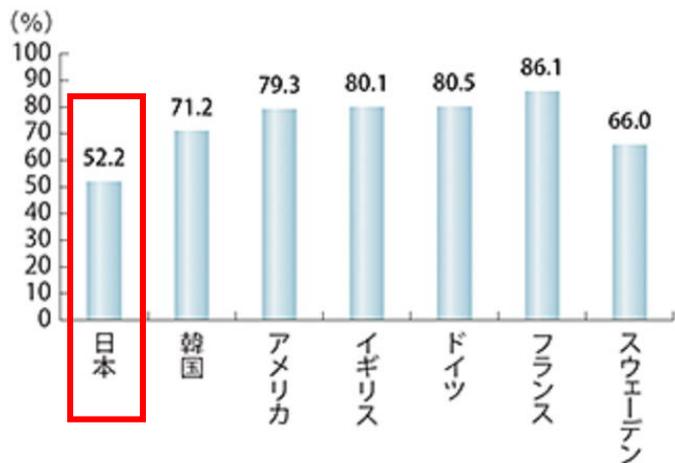


# 自己肯定感が低い

図表7 社会現象が変えられるかもしれない

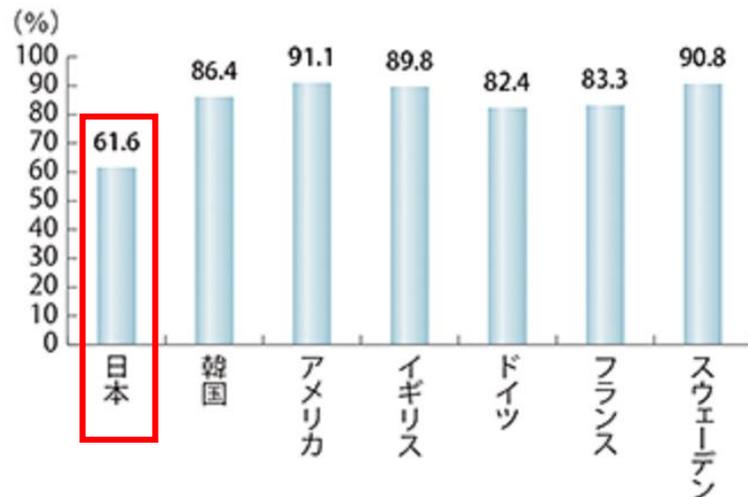


図表3 うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む

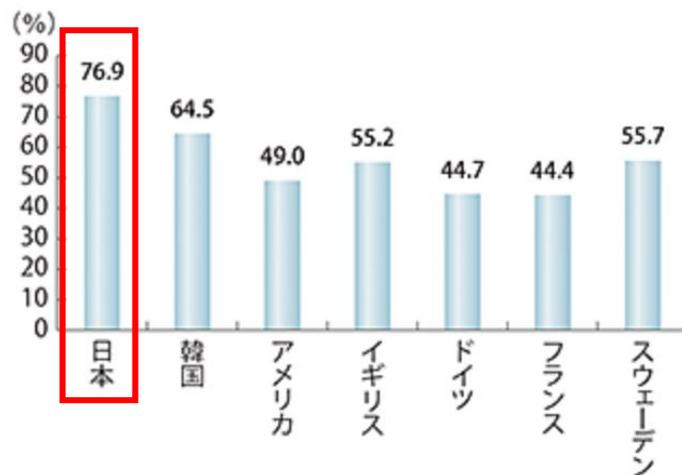


(注) 「次のことがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合。

図表8 将来への希望



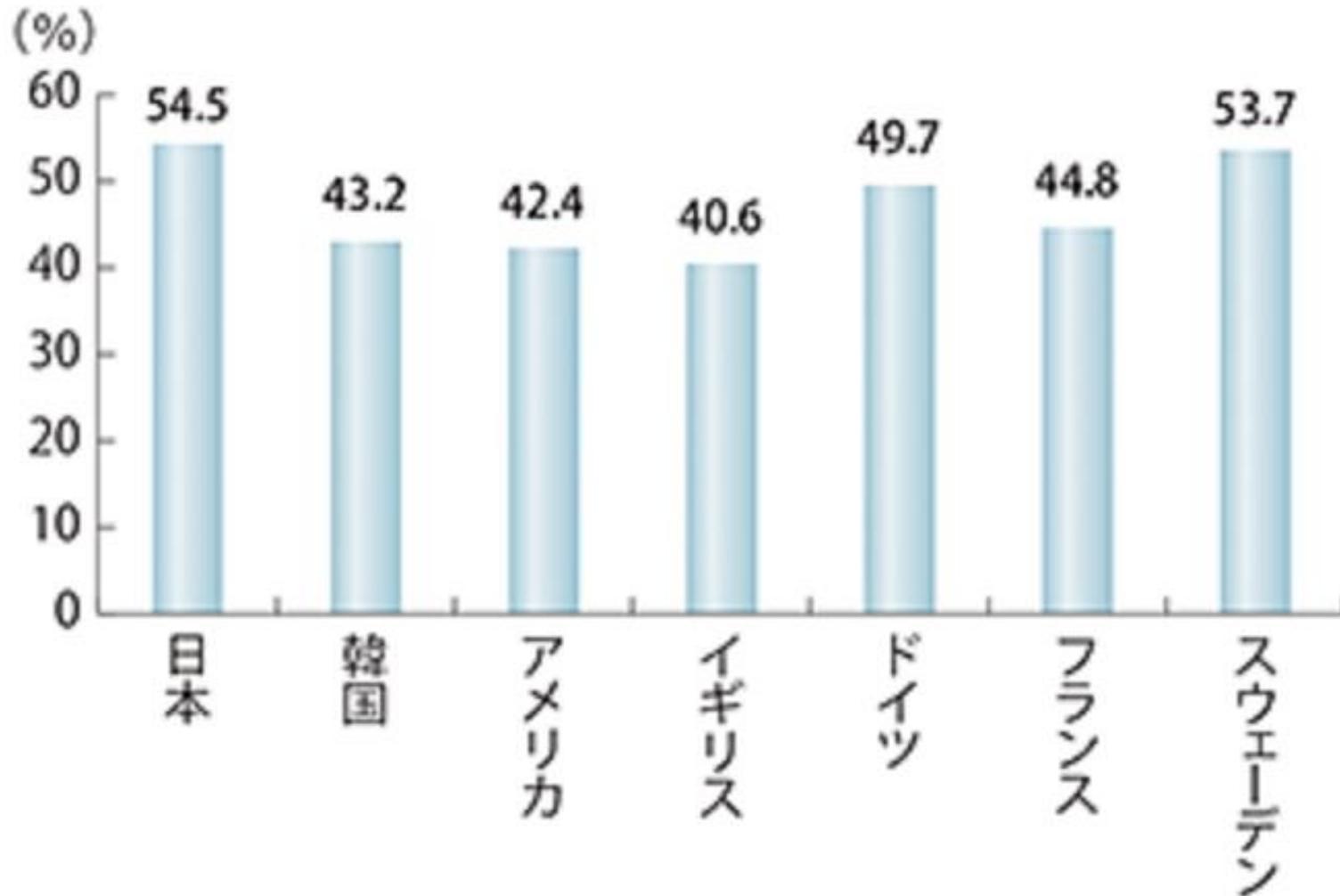
図表4 つまらない、やる気が出ないと感じたこと



それでも、なにかやりたいとは、実は思っているのでは？

図表 14

自国のために役立つと思うようなことをしたい



図表14

自国のために役立つと思うようなことをしたい

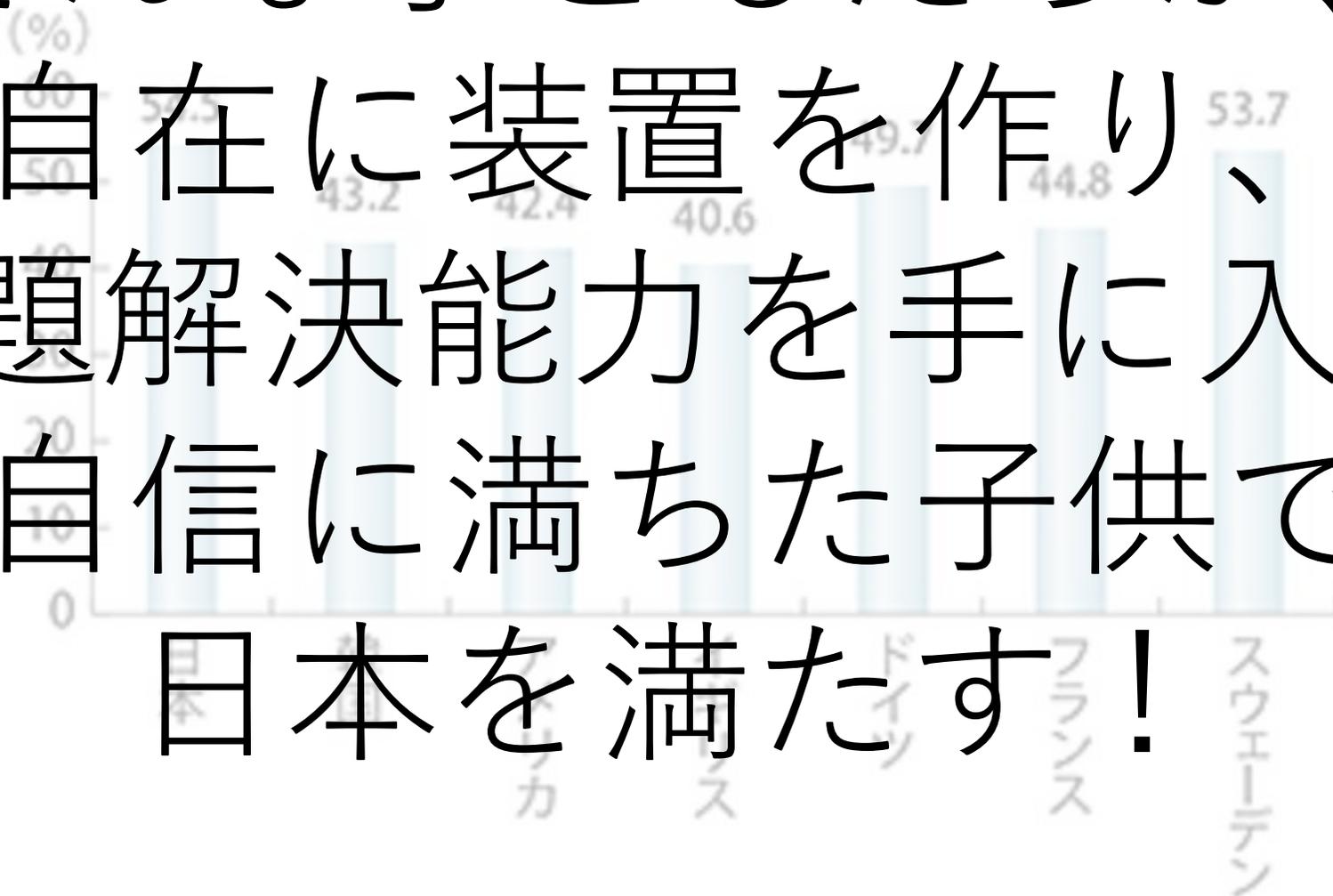
そんな子どもたちが、

自在に装置を作り、

問題解決能力を手に入れ、

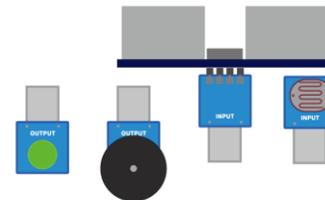
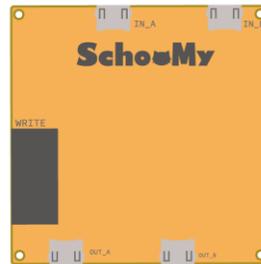
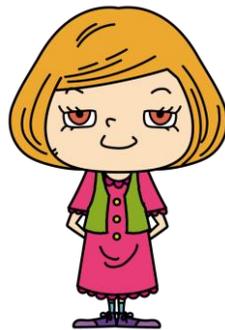
自信に満ちた子供で

日本を満たす！

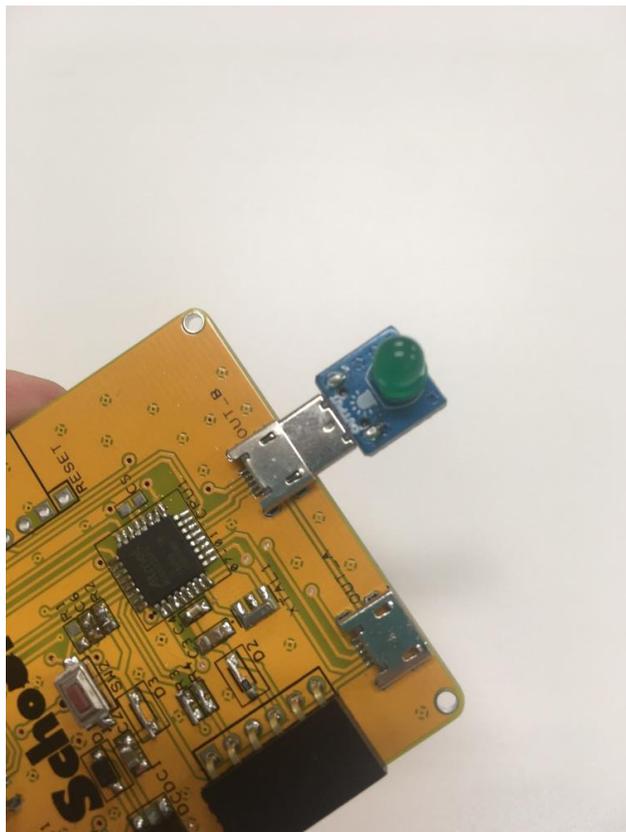


# SchoMy

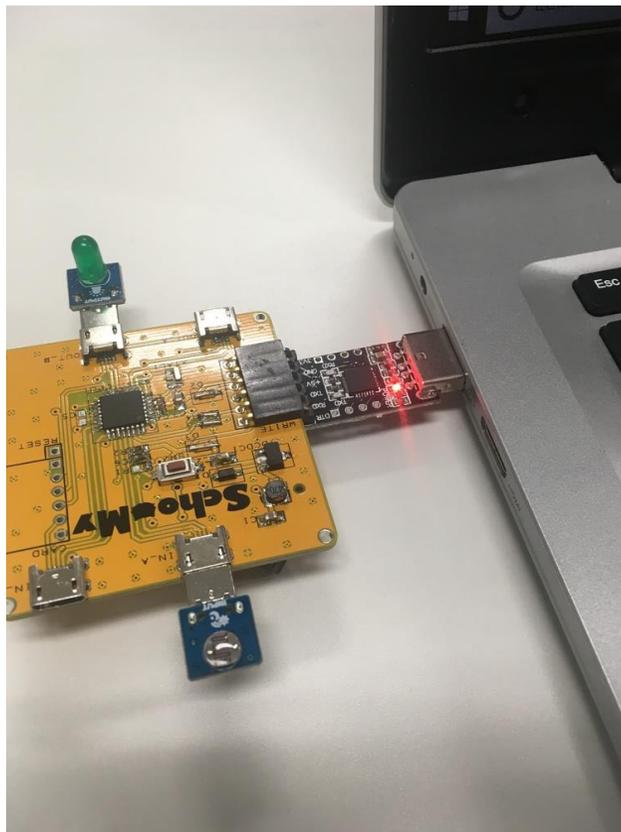
Limitless Fab Playing



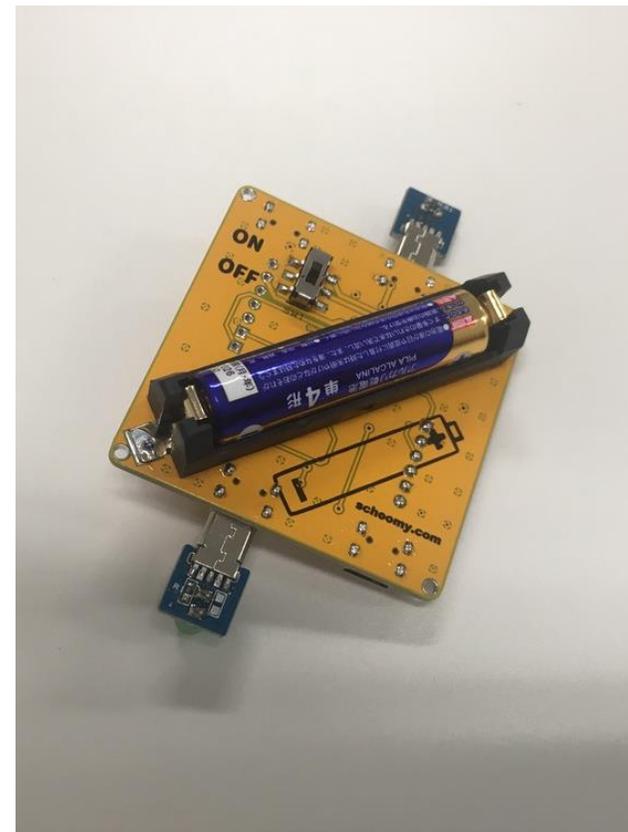
つなぐだけ



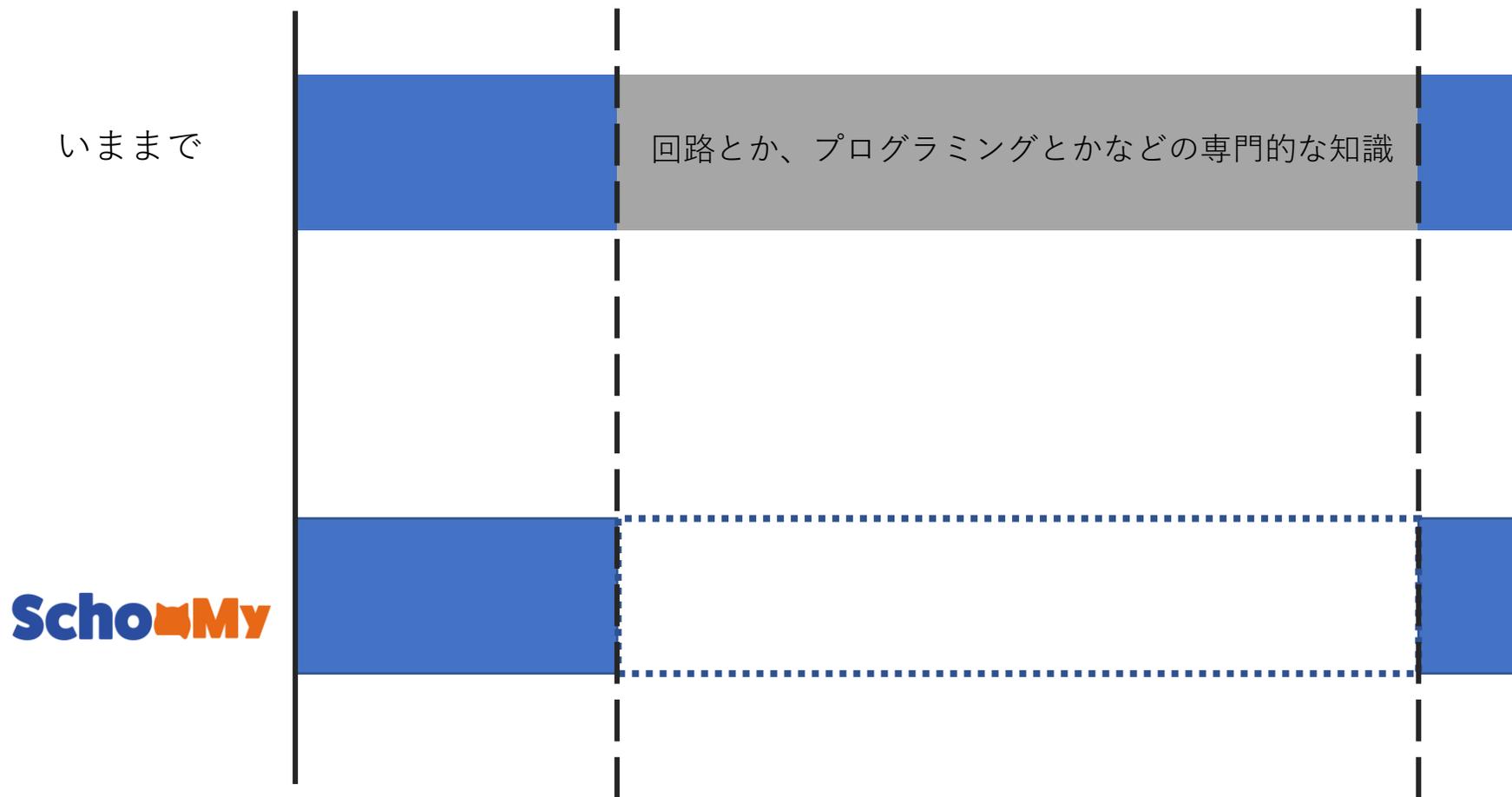
簡単プログラミング



電池で動く



自分にあったものを、だれでも、かんたんに、よりはやく。



問題の発見、その解決、その方法の発信を行い、  
活用能力を身につける

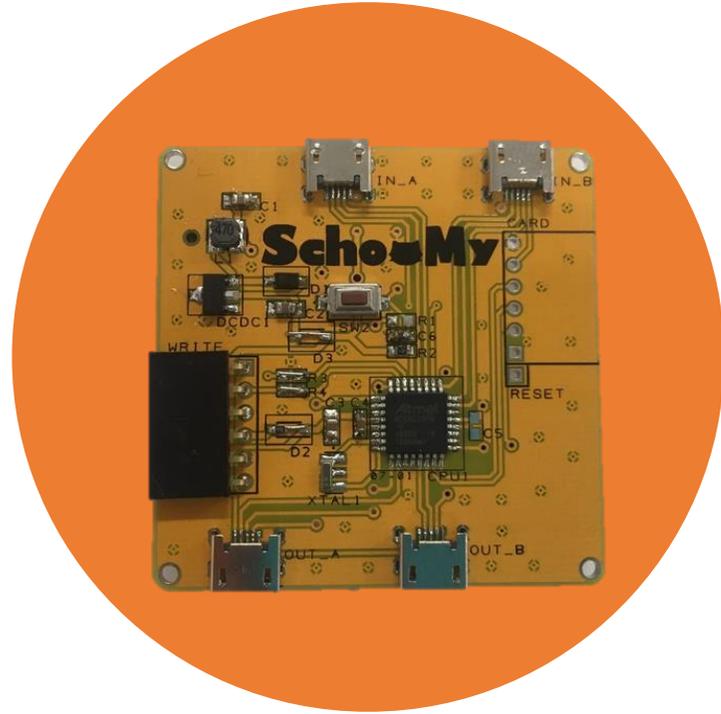
いままで

回路とか、プログラミングとかなどの専門的な知識

SchoMy

どんな問題があって、  
どうやって解決するかを考える時間

スクーミーを活用した地域事例を紹介します。



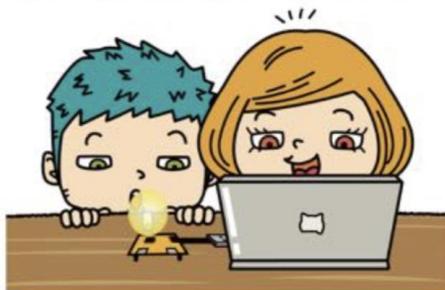
配布された冊子を使いながら説明していきます。

この表紙の冊子です。

このページを開いてください。

山梨県IoT推進ロボ人材育成ワーキンググループ テラコヤアイオーティ 事業報告書  
・ 教育委員会や自治体関係者向け資料  
・ 企業のCSR活動の一環、企業イベントの参考資料

# SchoMy



## IoT活用人材育成に向けた地域連携について

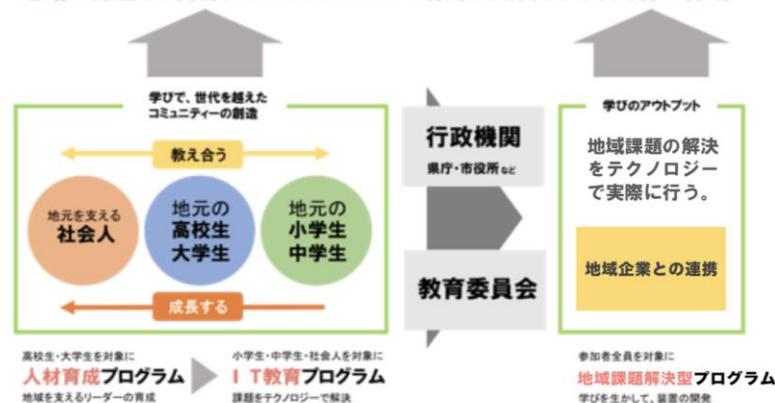
地域の課題を、地域に関わる人々が、自分たちで、知恵を出し合い  
解決していけるような地域を目指す取り組み

テラコヤ アイオーティ

地域の特色を踏まえた、世代を超えた、実践的な学び



地域の課題を、自分たちで、テクノロジー活用し、解決できる人材の育成



@山梨県都留市 テーマ：地域の伝統文化・芸術を、地域の子どもたちに伝える



都留市の伝統文化である、織物を伝えるために、地域の大学とお寺が協力して、お寺の講堂を学びの場として活用しました。織物の端切れで作ったランタンを暗くしたら光る様にプログラムをしました。

@山梨県甲州市 テーマ：地域の観光農園における作業効率向上を目指す

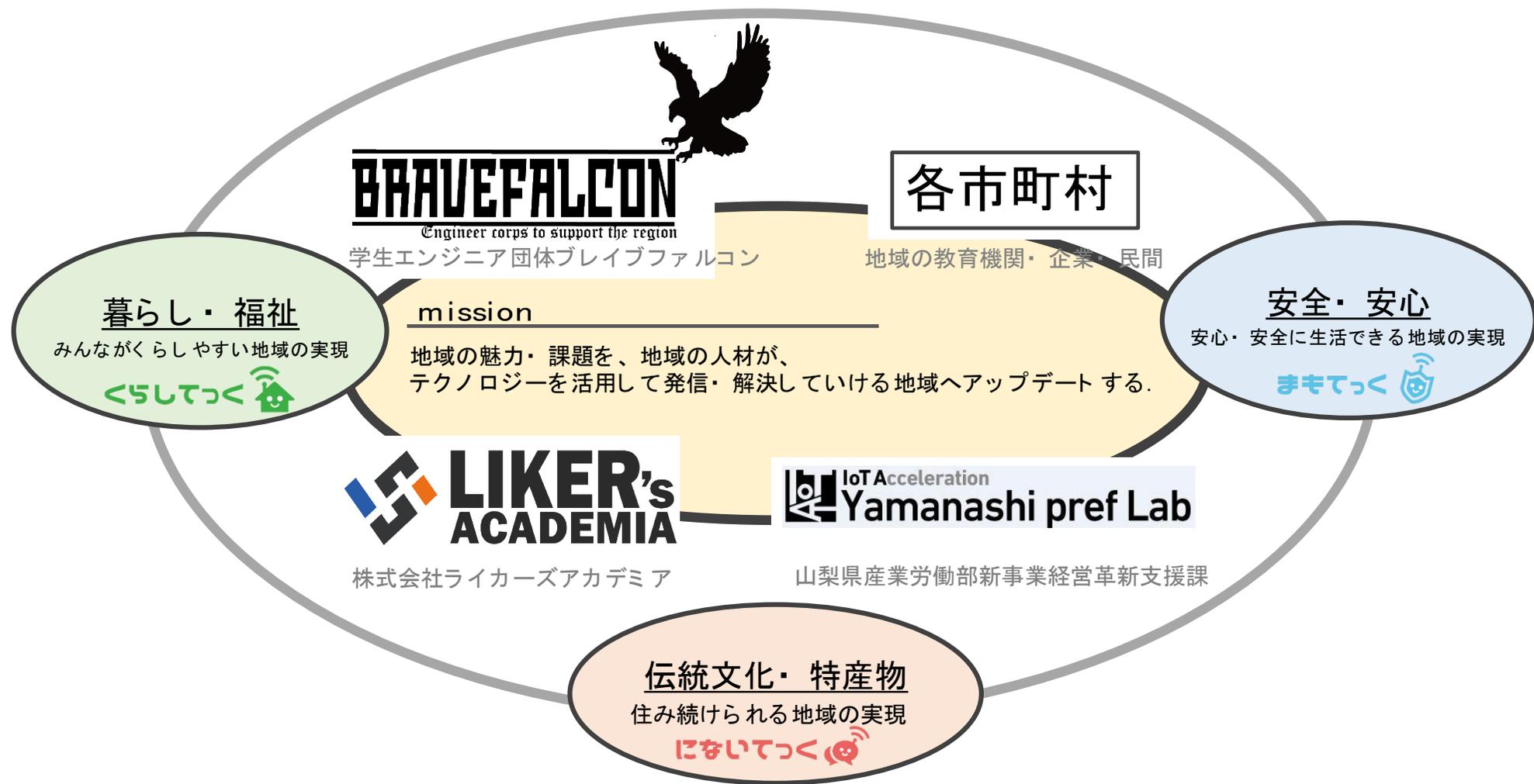


農家さんと学生が協力をして、観光農園における作業効率化を目指す、自動で重さから商品の値段を表示させる装置を開発しました。これにより、品種や重さによって料金を設定をしていた農家さんは、ただ乗せるだけで料金が表示されるので会計時にいちいち計算する手間がなくなり、作業の効率が上がりました。別紙でより具体的な報告を行っております。

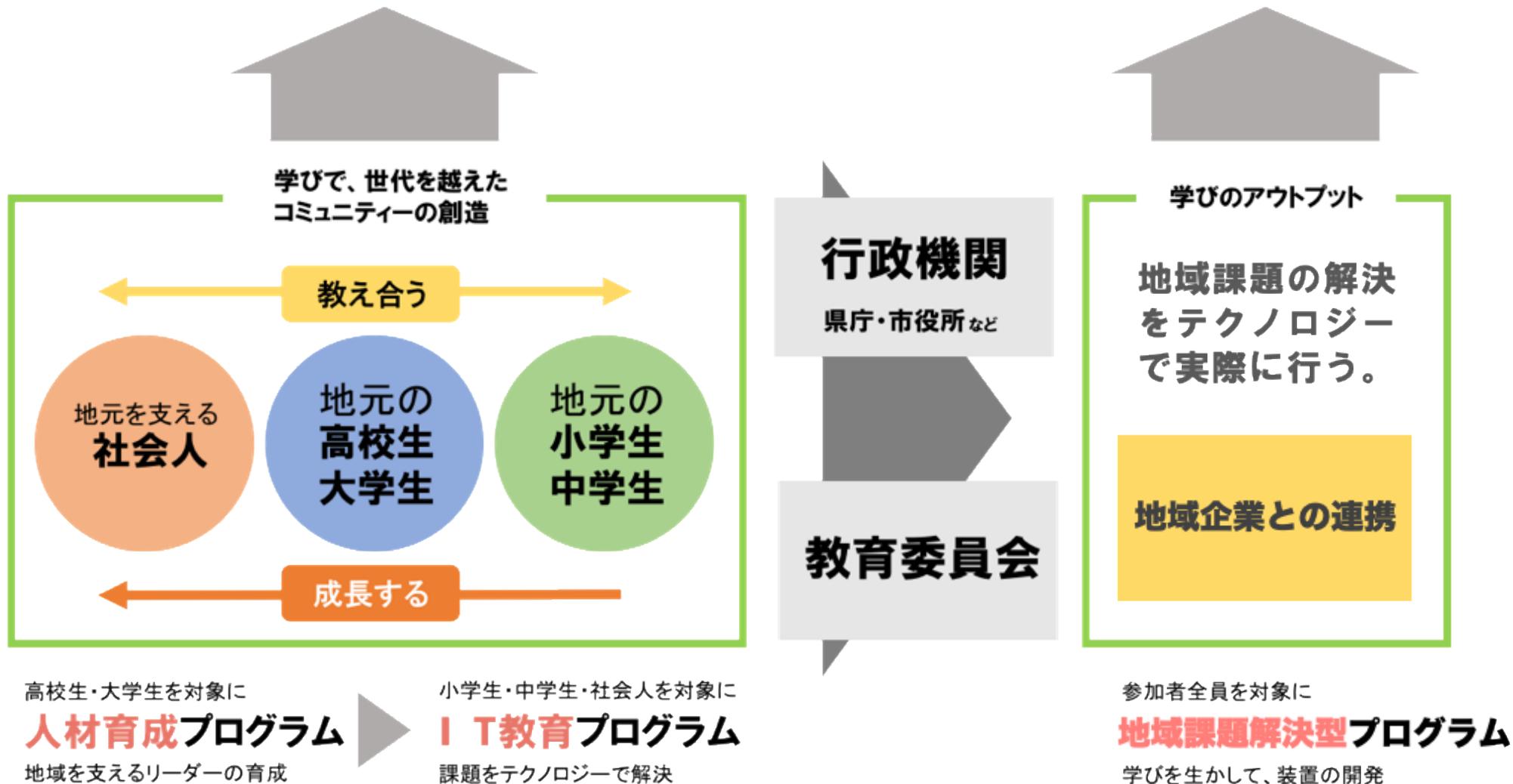
What's



# IoT教育・ICT教育を3つの分野で、地域にあった形で行う



# 地域の課題を、自分たちで、テクノロジー活用し、解決できる人材の育成

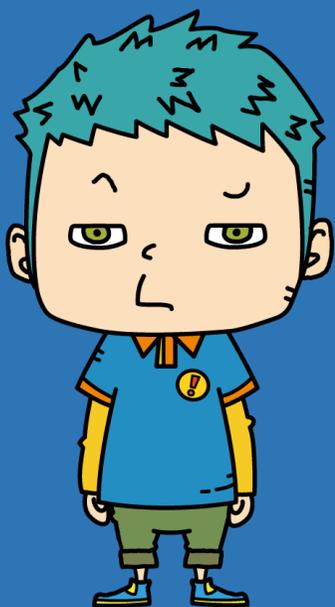


# 事例 1

伝統文化

×

テクノロジーの学び

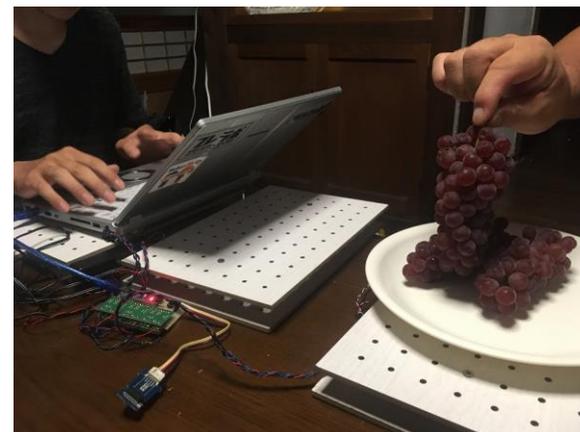
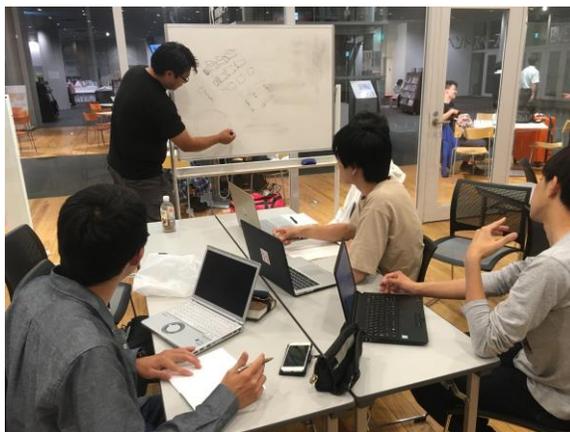
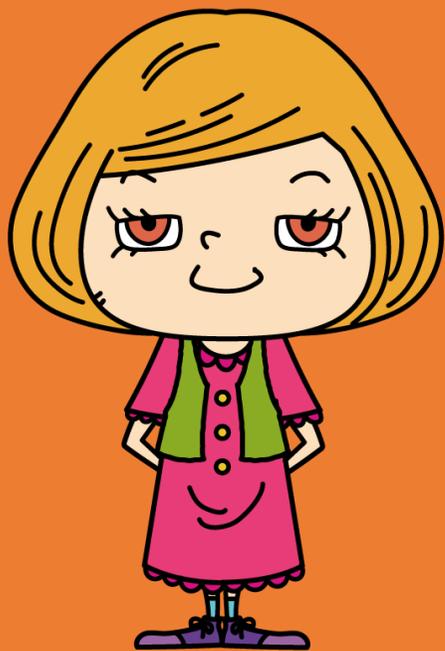


子どもたちが伝統文化のことを知る  
→担い手不足の解消

伝統文化を持続的なものにする  
→IoT・AIの活用を検討

## 事例 2

地域の特産物（農業）  
×  
テクノロジーの学び



自分たちの地域の魅力を発信する  
→観光農園における作業効率化

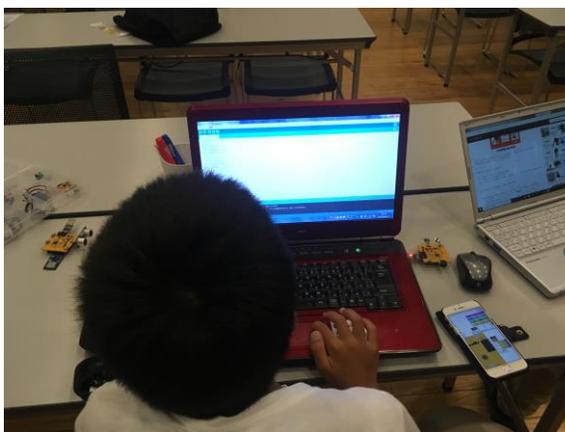
課題を明確にし、実現する  
→テクノロジーを活用できる人材を地域に増やす

# 事例 3

防犯・安全

×

テクノロジーの学び



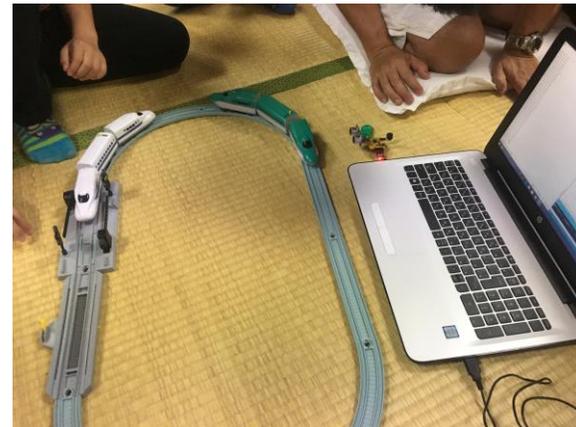
センサーを活用してどんなものができるか考え作る  
→防犯や安全に生活することを、より自分ごとに行える

地域の警備会社、開発会社が提携して指導

→よりよいものは、さらにブラッシュアップして製品化を目指す

## 事例 4

地域の交流・福祉  
×  
テクノロジーの学び



地域全体でIoT・ICTを学ぶ  
→地域課題に対してどんなことが取り組めるかを考える

企業の人・教員・役所の人と一緒に学ぶ  
→IoTのことを知るきっかけを作り、業務改善や導入を促す

## 事例5

教育現場

×

テクノロジーの学び



プログラミング教育に関する教員研修会の実施  
→より課題解決にいきた学びの提案を行う

教員が実際にどんなものがあつたらいいか考え作る  
→業務改善ができる可能性があるならIoT導入の検討

## 事例5

## 科学館

×

## テクノロジーの学び



誰もが学べる環境を整える  
→テクノロジー活用人材の育成

子どもたちが考え、作り出すことのできる場を安価に  
→新しく箱を作るのではなく、既存の場所での活用

他にも色々あります。



高校での授業

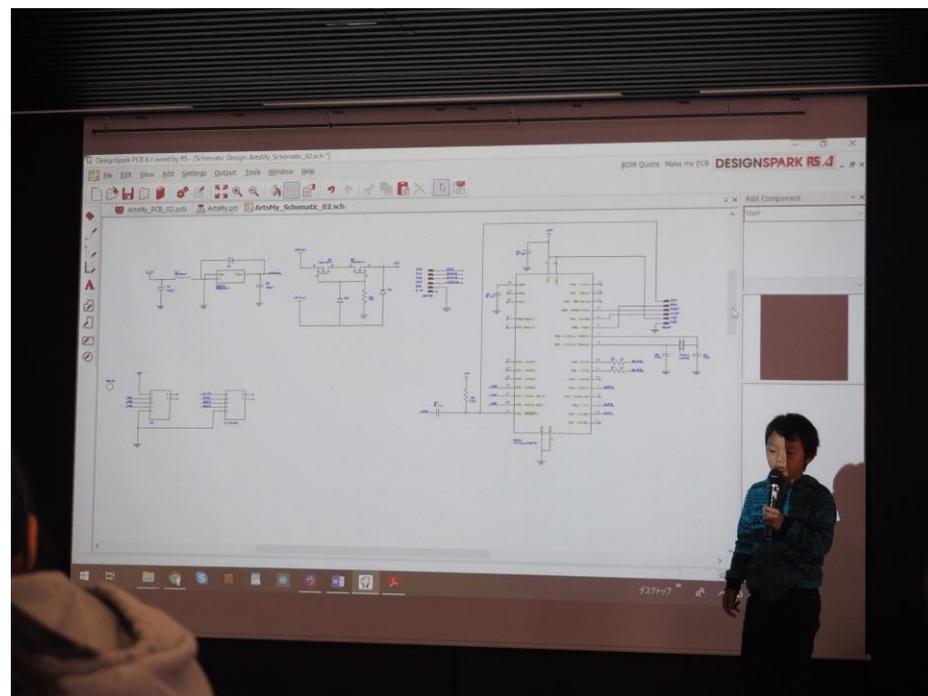
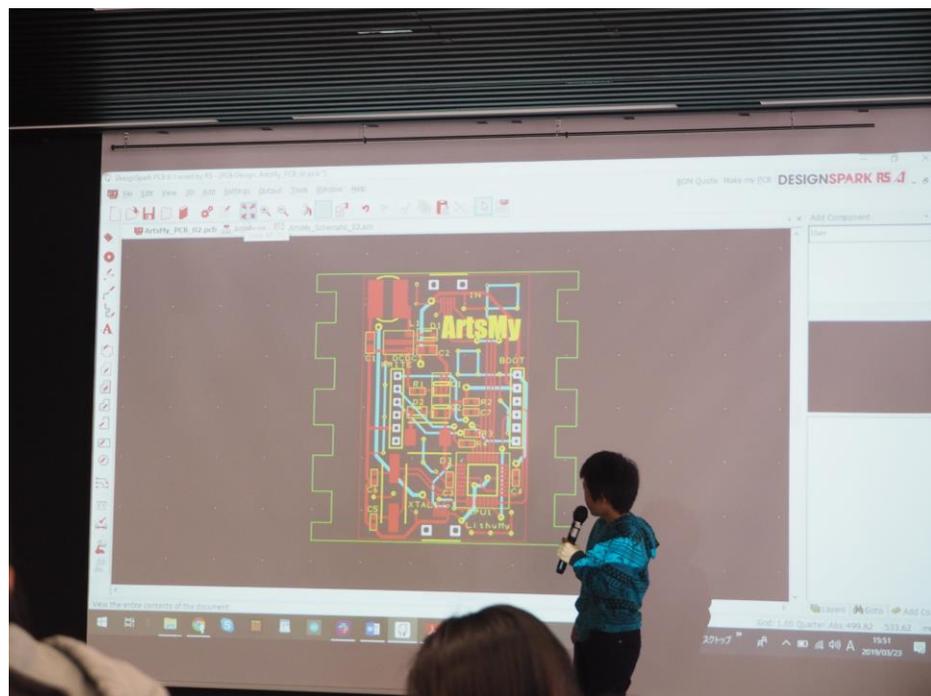


企業とのコラボレーション



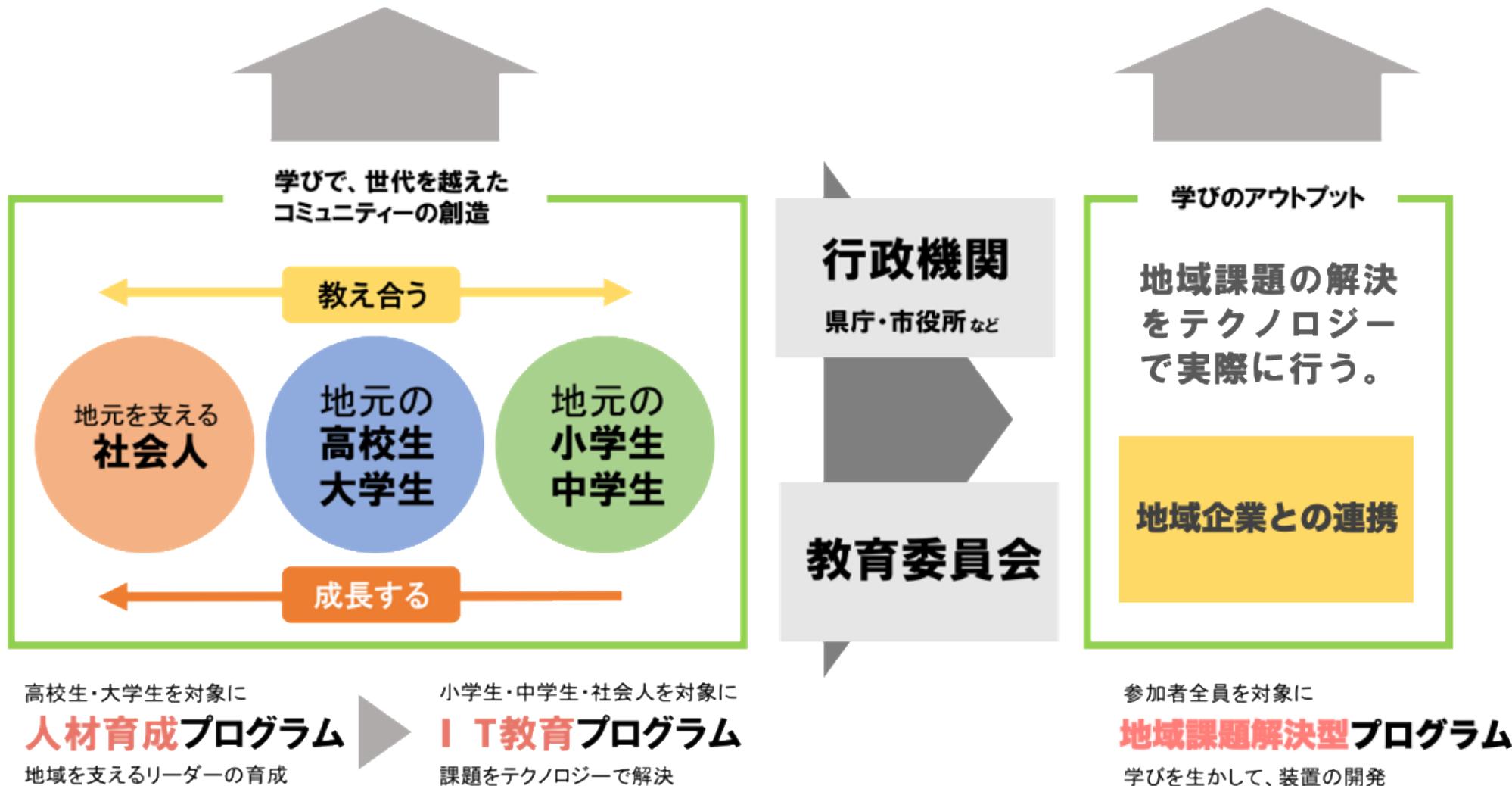
自然体験

企業とタイアップし製品を開発  
ギフトショーにも出展し、改良を重ね、今年11月にリリース





# 地域の課題を、自分たちで、テクノロジー活用し、解決できる人材の育成





甲斐市  
甲府市  
山梨市  
都留市  
富士吉田市  
市川三郷町  
南アルプス市  
上野原市  
北杜市

富士川町  
昭和町  
小菅村  
甲州市  
北杜市

山形県  
新潟県  
秋田県  
神奈川  
愛知県  
広島県  
八王子市  
日野市  
勝どき